

# 事業評価票

130	消防学校訓練場舗装改修 (東京消防庁消防学校／一般会計)	事業開始	平成 7 年度
		事業終了予定	平成 - 年度

## 【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか	
<p>○ 消防学校訓練場については、平成7年に訓練時の転倒防止等を考慮して、滑り止め効果の高いセラミック舗装により整備を行い、消防学校学生や消防隊等の行う訓練を安全かつ効果的に実施している。</p>	
根拠法令等	消防組織法第51条

2 どのように取り組み、どのような成果があったか	
<p>○ 消防学校訓練場における消防学校学生の初任教育訓練、研修及び消防隊等の訓練実施は、消防隊の活動技術の維持・向上に結び付いている。</p> <p>○ また、消防団と消防隊の連携訓練や災害時支援ボランティア講習も実施しており、本格的な訓練を通じて、消防団員及び災害時支援ボランティアの災害に対する知識・技術の向上に結び付いている。</p>	

3 どのような課題や問題点があったか	
<p>○ 消防学校訓練場の舗装は、年数の経過により、剥離寸前の舗装面が広く存在しており、訓練時に滑り・転倒の危険があることから、全面的な改修が必要となっている。</p> <p>○ 改修に際しては多額の費用を要することから、訓練場の舗装面として必要な機能を満たした上で、維持管理費も含めたフルコスト試算によって、費用対効果の高い改修を実施していく必要がある。</p>	

4 局として、事業をどうしていきたいか																			
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他																
<p>○ 継続的に消防隊等の活動技術の維持・向上を図るため、訓練場の舗装を改修し、適切に維持管理を行う。</p> <p>○ 改修工法は、現行のセラミック舗装と比べて滑り止め性能が劣るものの、一定の滑り止め効果があり、改修費が低廉で維持管理費が不要な「コンクリート目粗し」を採用し、経費の縮減を図る。</p>																			
<p>&lt;工法別コスト比較(20年間)&gt; 単位：千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>改修費</th> <th>維持管理費</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セラミック舗装 (現行)</td> <td>71,902</td> <td>7,980</td> <td>79,882</td> </tr> <tr> <td>コンクリート目粗し (改修後)</td> <td>42,548</td> <td>-</td> <td>42,548</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>縮減額 △37,334</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	改修費	維持管理費	合 計	セラミック舗装 (現行)	71,902	7,980	79,882	コンクリート目粗し (改修後)	42,548	-	42,548				縮減額 △37,334
区 分	改修費	維持管理費	合 計																
セラミック舗装 (現行)	71,902	7,980	79,882																
コンクリート目粗し (改修後)	42,548	-	42,548																
			縮減額 △37,334																
歳入	26年度決算額 - 千円	歳出	26年度決算額 - 千円																
	27年度予算額 - 千円		27年度予算額 - 千円																
	28年度見積額 - 千円		28年度見積額 42,548 千円																

## 【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか	
<p>○ 消防隊等の活動技術の維持・向上を図るためには、適切な訓練環境を整えることが重要である。</p> <p>○ 消防学校訓練場の舗装を「コンクリート目粗し」に改修することで、滑り止め効果と経費縮減効果の双方を得ることができ、費用対効果の高い取組と認められる。</p>	

6 28年度予算で、どのように対応したか			
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
○ 見積額のとおり計上する。			
歳入	28年度予算額	- 千円	
歳出	28年度予算額	42,548 千円	